

# 令和 4 年度 事 業 報 告

# 令和4年度事業報告

## 第1 概況

令和4年度は、ダムに対する多様な社会的要請等を踏まえ、新技術の開発、既設ダムの有効活用、ダムの安全管理の3点に重点を置き、公益目的支出計画に基づく実施事業である調査研究・技術開発、ダム技術者の育成、ダム技術の普及啓発等の事業を着実に推進するとともに、ダム事業に関する技術協力等の事業を積極的に推進したところである。

## 第2 運営一般の状況

### 1. 組織及び人員

ダム技術センターの組織及び人員の概要は、令和4年度末現在、次のとおりである。

#### (1) 役員

理事長（代表理事）	1人
常勤理事（業務執行理事）	2人
非常勤理事	5人
監事	2人

#### (2) 理事会

理事長及び常勤、非常勤理事の計8人をもって構成している。

#### (3) 評議員会

評議員9人をもって構成している。

#### (4) 顧問

調査研究部門に属する重要事項について専門的な意見を聞くため、顧問1人を置いている。

#### (5) 研究顧問

学識経験者等5人に委嘱している。

#### (6) 事務局及び職員

事務局には、本部及びダム技術研究所を置き、ダム技術研究所長は専任としている。

本部には総務部、企画部及び技術第一部の3部を、ダム技術研究所には研究第一部及び研究第二部を置くほか、事務局に審議役等5人（兼務を含む。）、本部に上席参事役等3人を、ダム技術研究所に首席研究員5人を置いている。

事務局の人員（兼務職員については、本務の区分による。）は、次のとおりである。

ダム技術研究所長	1人	審議役	1人
総務部	5人	企画部	6人
技術第一部	4人	研究第一部	3人
研究第二部	2人	上席参事役等	3人
首席研究員	5人		
		計	30人

## 2. 理事会

### (1) 第29回理事会

令和4年6月6日に、ダム技術センター会議室において、対面形式と併せてWEB会議システムを用いて開催し、令和3年度事業報告及び決算、公益目的支出計画実施報告書、定時評議員会の招集、定時評議員会に提出する議案、研究顧問の委嘱について決議するとともに、令和4年度事業の執行状況について報告を行った。

- ・委嘱すべき研究顧問

研究顧問 川崎 正彦（新任）

### (2) 第30回理事会

令和4年6月21日に、ダム技術センター会議室において、対面形式と併せてWEB会議システムを用いて開催し、理事長（代表理事）及び業務執行理事の選定について決議を行った。

- ・選定された理事長（代表理事）及び業務執行理事

理事長 泊 宏

業務執行理事 山口 嘉一

### (3) 第31回理事会

令和5年3月13日に、ダム技術センター会議室において、対面形式と併せてWEB会議システムを用いて開催し、令和5年度事業計画及び収支予算、一般財団法人ダム技術センター職員就業規則及び一般財団法人ダム技術センター懲戒委員会規程の一部改正並びに一般財団法人ダム技術センター職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定、一般財団法人ダム技術センター職員給与規程の一部改正、一般財団法人ダム技術センター育児・介護休業等に関する規程の一部改正、顧問の委嘱、役員賠償責任保険の加入について決議するとともに、令和4年度事業の執行状況について報告を行った。

- ・委嘱すべき顧問

顧問 中村 康夫（再任）

### 3. 評議員会

#### 第10回評議員会

令和4年6月21日に、ダム技術センター会議室において、対面形式と併せてWEB会議システムを用いて開催し、令和3年度事業報告及び決算、役員の選任について決議するとともに、公益目的支出計画実施報告書、令和4年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

##### ・選任された役員

理事 山口 嘉一（再任）

理事 魚本 健人（再任）

理事 角 哲也（再任）

理事 佐藤 悟（再任）

理事 金森 吉信（再任）

理事 田村 寛司（再任）

理事 泊 宏（新任）

監事 新 壽夫（再任）

監事 村田顕吉朗（新任）

### 4. 定例幹部会

原則として、月1回開催し、ダム技術センターの運営に関する事項全般にわたり討議を行った。

### 第3 事業実施の状況

#### 1. ダムの建設及び管理の技術に関する調査研究・技術開発及び調査研究の成果の提供

##### (1) 調査研究・技術開発

特定調査研究事業等で実施した「ダムの地震時挙動に関する研究」等について令和3年度の成果をとりまとめ、ダム技術研究所調査研究活動報告に掲載した。

##### (2) 調査研究の成果の提供

###### ①技術支援

ダムの施工や管理における緊急を要する技術的諸問題について、受託によらない技術的アドバイス、現地技術指導等を行う技術支援を実施した（直轄・補助・電力会社など、計18ダム42件）。

###### ②調査研究成果の提供

「地質現象とダム 第2版」を令和5年3月にとりまとめ、発刊するとともに関係機関へ配布等を実施した。

また、毎年度出版している「ダム技術研究所調査研究活動報告」、機関誌「ダム技術」による技術情報の提供、各種技術誌等への投稿等により、調査研究成果を提供した。

#### 2. ダム事業に関する技術協力

ダム事業に関する技術協力については、都道府県、国土交通省等諸機関からの委託に基づき、以下に示す①から⑥までの計64件を実施した。

##### (1) 技術協力

###### ①計画等に関する技術協力

- ・河川砂防技術基準について、既設ダムの積極的な有効活用や近年の技術の進展等を踏まえた改定素案の検討を実施した。

###### ②地質解析等に関する技術協力

- ・ダムサイト及び貯水池周辺地すべり等に関する解析検討及び評価を、山鳥坂ダム（四国地整）、儀明川ダム（新潟県）等で実施した。

③設計・施工計画等に関する技術協力

- ・台形 CSG ダムの設計・施工に関する評価を、成瀬ダム（東北地整）、鳴瀬川ダム（東北地整）等で実施した。
- ・放流能力の増強、貯水池容量の増大等の既設ダムの再開発の設計・施工に関する検討及び評価を、旭川ダム（中国地整）、相模ダム（神奈川県）等で実施した。
- ・ダムの堆砂対策に関する検討及び評価を、天竜川水系のダム（中部地整）、耳川水系のダム（九州電力）等で実施した。
- ・基礎岩盤の地質構造が複雑なダムの本体設計に関する検討及び評価を、城原川ダム（九州地整）、利賀ダム（北陸地整）等で実施した。

④積算基準等に関する技術協力

- ・ダム工事の積算資料に関する検討・分析及び施工機械損料に関する調査を実施した。

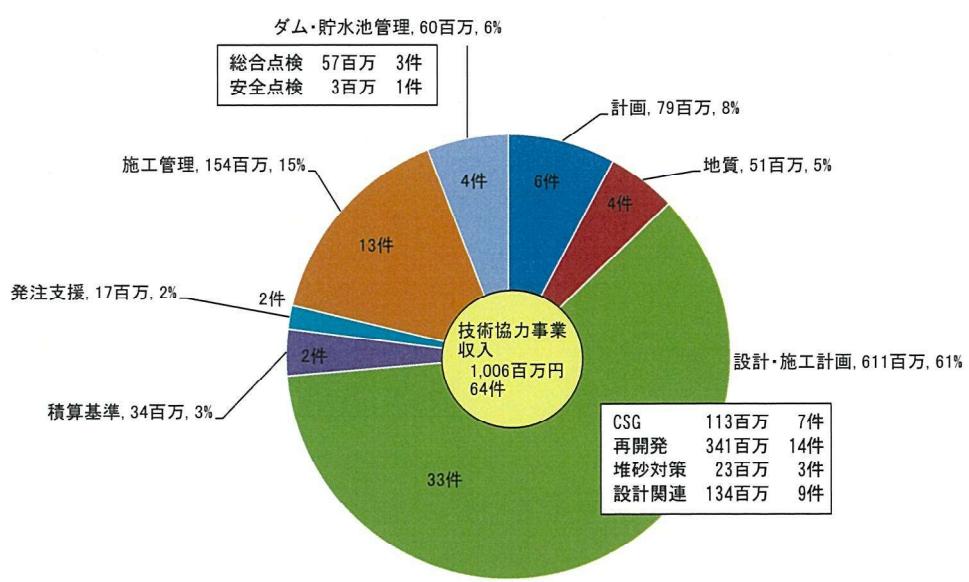
⑤施工管理等に関する技術協力

- ・本体工事中のダムの施工管理等に関する技術協力を、平瀬ダム（山口県）、和食ダム（高知県）等で実施した。

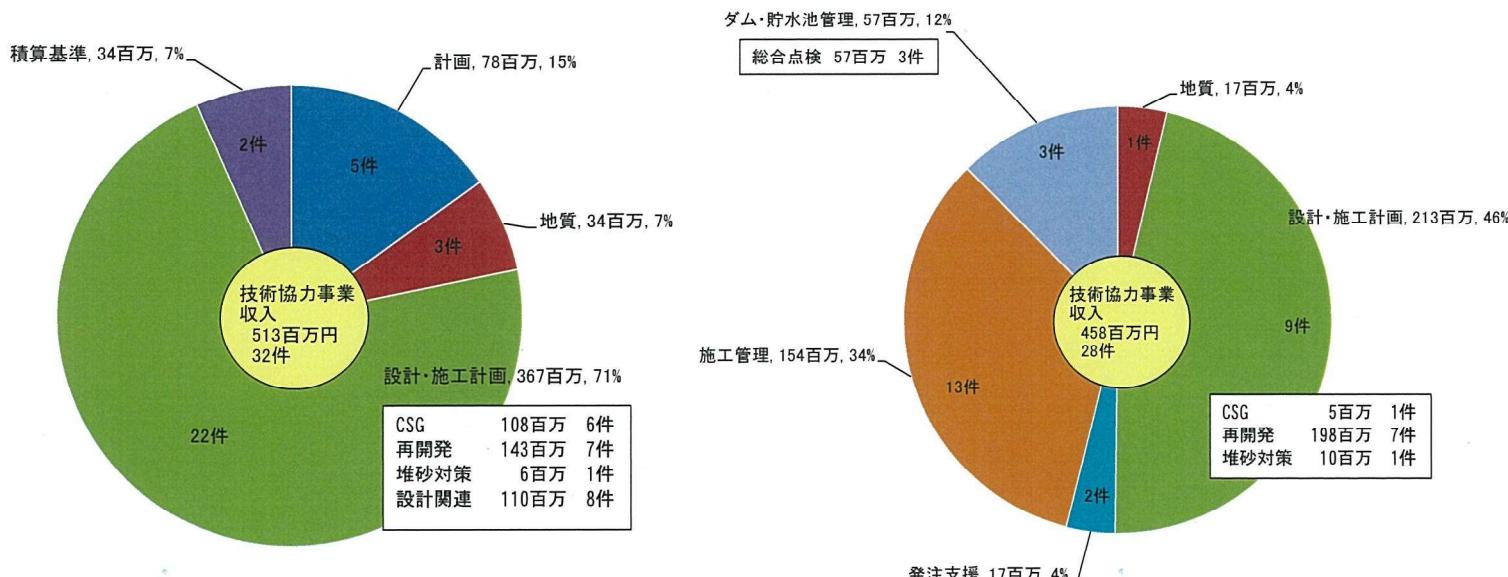
⑥ダム・貯水池管理等に関する技術協力

- ・管理中のダムの健全度について総合的に調査及び評価し、維持管理方針を策定するダム総合点検を、沼本ダム（神奈川県）、長谷ダム（兵庫県）で実施した。
- ・発電ダムの安全性点検及び評価を、水ヶ瀬ダム（東北電力）で実施した。

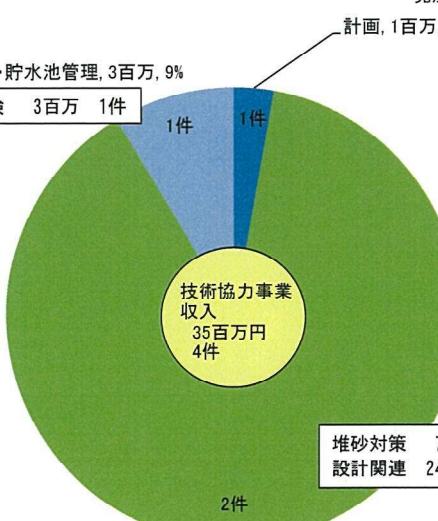
令和 4 年度技術協力事業の金額、件数を分野別に示したものを以下に示す。



令和4年度JDEC技術協力事業内容別割合(全体)



令和4年度JDEC技術協力  
発注機関別割合(直轄)



令和4年度JDEC技術協力  
発注機関別割合(補助)

令和4年度JDEC技術協力  
発注機関別割合(電力会社等)

## (2) 技術協力に関する委員会の運営

### ① 設計・施工等に関する委員会

- 台形C S Gダムの設計等の評価及び施工等に関する確認・評価を行う「成瀬ダムC S G施工技術委員会」の運営協力を実施した。(9月16日)
- 建設後約50年が経過した岩盤PSアンカーアー工の健全性と対策工について検討・評価を行う「川俣ダム岩盤PS工技術検討委員会」の運営協力を実施した。(12月23日)

### ② ダム貯水池管理等に関する委員会

- 発電ダムを対象とした「耳川水系ダム通砂技術検討委員会」等の運営を、電力会社からの委託により実施した。(3月27日～28日)

## 3. 国際技術交流

### ○国際会議への参加

第27回国際大ダム会議（ICOLD）大会・第90回ICOLD年次例会への参加  
令和4年6月にフランスのマルセイユで開催された第27回国际ICOLD大会・第90回ICOLD年次例会に「SEISMIC PERFORMANCE VERIFICATION OF A ROCKFILL DAM AGAINST LARGE DOUBLET EARTHQUAKES」論文1編を投稿した。

#### 4. ダム技術者育成事業

##### (1) 現地技術研究会

都道府県の若手職員を対象として、建設・管理の現場に即した実践的なダム技術を習得するための研究会を開催した。

###### ○令和4年度現地技術研究会

- ・参加者数 23名
- ・期間 令和4年11月16日～18日
- ・現地 内ヶ谷ダム、阿多岐ダム（岐阜県）  
新丸山ダム（国土交通省中部地方整備局）



内ヶ谷ダム本体工事現場の見学



グループに分かれて実施した  
技術検討会

##### (2) ダム技術研究発表会

都道府県等から、ダムの設計・施工・管理等に関する5論文の発表があった。

最優秀賞は、大阪府安威川ダム建設事務所の永江 敦総括主査、八田 純平副主査の発表「安威川ダム減勢工側壁のプレキャストブロック化」、優秀賞は、新潟県柏崎地域振興局地域整備部の相田 真也主任の発表「鶴川ダム カーテングラウチング計画における課題と対応」、及び大分県玉来ダム建設事務所の山本 真也技師の発表「玉来ダム転流トンネル閉塞工における合理化施工」が受賞した。

## ○令和 4 年度ダム技術研究発表会

- ・参加者 27 名
- ・開催日 令和 5 年 1 月 18 日
- ・会場 富士ソフトアキバプラザ（千代田区神田）



### ダム技術研究発表会 開催状況

#### (3) 海外ダム技術研修

令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止した。

#### (4) オンザジョブトレーニング

都道府県職員、電力会社等の若手技術職員（4 名）を受け入れ、オンザジョブトレーニングによる人材育成を実施した。

### 5. ダムに関する知識の普及啓発等

#### (1) 機関誌「ダム技術」(月刊)の刊行

機関誌「ダム技術」を毎月発行した。発行部数毎月 549 部。

#### (2) 広報誌「ダムニュース」(月刊)のメール配信

ダムニュースを毎月メール配信した。配信数 410 件。

#### (3) ダムフォトコンテスト

ダムフォトコンテストの審査会を、令和 4 年 10 月 27 日に開催した。最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点、審査員特別賞 1 点等を決定した。

応募者数 189 名、応募数 453 点。

## 6. その他の事業

### (1) プレキャスト型枠事業

平成 11 年度より実施しているプレキャスト通廊用の製作型枠の貸出事業を、  
6ダムで実施した。

### (2) 関係団体・関係行事への協力

- ・一般社団法人ダム工学会活動への協力
- ・一般社団法人日本大ダム会議の活動への協力
- ・「水の週間」行事への協力
- ・「日本水フォーラム」行事への協力
- ・「川の日」行事への協力



(一社)ダム工学会活動への協力

なお、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しないので、作成しない。